

導入事例
デジタル
サイネージ

北九州高速鉄道株式会社

発車時刻を改札上のデジタルサイネージで表示。
誰もが分かりやすい表示で、顧客満足の実現。



北九州高速鉄道(株)様では、デジタルサイネージで列車の発車時刻を改札口に掲示するため、小型コンピューター「Raspberry Pi 3 Model B」および43型液晶ディスプレイ「LCD-M4K431XDB」を導入されました。導入の経緯と使用感について、北九州高速鉄道(株)の山内大毅様とシステム開発をされた(株)Local24の廣瀬文矩様にお話を伺いました。



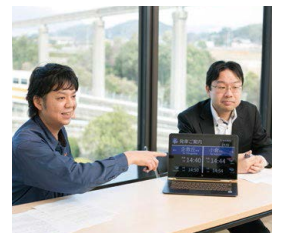
導入商品

LCD-M4K431XDB
Raspberry Pi 3 (UD-RP3)

お客様が一番知りたい発車時刻を、もっと見やすくするために。

山内様：印刷ベースの時刻表は切符売り場と改札内に掲示してあるのですが、お客様の目に止まりにくいのが課題でした。「次の列車はいつ?」と問い合わせがあっても、駅員が1人なので対応が不十分だったり。社内のCS調査でも不満の声が多数ありました。当初は、既存の「運行管理システム」とリンクさせ、列車の現在位置が分かるランプ表示を改札に設置しようとしたのですが、根本的な解決ではないという現場サイドの声がありまして。かといって時刻表示システムの自社開発は難しいと悩んでいたところ、弊社のホームの無料Wi-Fiシステムを構築してくださったLocal24様が、他の鉄道事業者と同様の実績をお持ちだとして、現場の視察をして、まさにこれだ!と依頼しました。

廣瀬様：システムは大きく分けて2つ。まず、本社にある指令室では、駅の発着時刻のデータを生成し、各駅のディスプレイを制御するサーバー。あとはそれを管理するためのパソコンですね。各駅に関しては、ラズベリーパイとディスプレイをIPパワーという電源装置で、指令室のサーバーからオンオフする仕組み。なので、駅員の方が始発前に電源を入れたり、終電後に切るといった作業はいっさい不要です。



高い信頼性を追及した、確かな技術に支えられたシステム。

廣瀬様：弊社ではH29年度消防庁の『情報伝達手段等の高度化事業』の実証に参加し、OSを開発。実証におけるデジタルサイネージにラズベリーパイを使って納品しました。人命がかかっているの、いざという時に絶対に落ちてはいけません。例えば冷凍庫に入れたり、破壊試験に近い状態でOSを稼働させたり。そうやって安定性を担保したOSを搭載しているため、これと同じプラットフォームにすればいいと考え、ラズベリーパイを使用しました。

365日途切れなく、「あって当たり前」のサービスとして提供を。

廣瀬様：アイ・オー・データ機器での取り扱いが始まると情報があり、大画面ディスプレイも出ると聞いていたので、それならセットがいいなと採用しました。もしトラブルがあっても窓口は一つで済みますから。問題が起きたら、弊社は現場の対応が最優先。なので価格より何より、電話1本ですべてケアしていただくことが重要なのです。

山内様：ディスプレイの保守パックもいい。問題があれば先出しで商品が送られるので、停止期間を短くできます。もう、あって当たり前のものになっていますから。



廣瀬文矩 様
株式会社Local24
代表取締役会長

山内大毅 様
北九州高速鉄道株式会社
業務課 電気課 信号通信係
総括主任

お客様のためのサービスであり、駅員のためのサービスでもある。

山内様：12月に導入してから3か月。駅員へのお問い合わせの2~3割が発車時刻に関してだったのが、ほぼゼロになりました。たくさんのお客様から、時刻が見やすくなった、わかりやすいと、お褒めの言葉をいただいています。

廣瀬様：次に来る電車がラッピング車両かどうかや、その内容も表示できます*。北九州高速鉄道様は銀河鉄道999のラッピングが全国的に知られていて、それに乗りたいというお客様が多いんです。*表示はまだ未稼働

山内様：「999号はいつ走るんですか」というお問い合わせもかなりありました。運行時刻は車両検査などがあるため毎日変わるので、駅員は聞かれたら小倉駅に確認するしかなかった。その負担が軽減されました。

廣瀬様：駅員の方はどんな情報も知っている、と思いついておられるお客様が少なくない。対応が遅いと不満になる。そうした原因を1つでも減らすのが目的です。

山内様：ラッピング列車の表示は、広告主にプレゼンする際に「合わせてこんなこともできますよ」と紹介できます。改札の上に表示されるのでインパクトが大きいため、営業活動にもつながります。今回のサイネージのメリットは幅広いですね。

CLIENT DATA

北九州高速鉄道株式会社 様

通勤通学レジャーに、1日約3万人の利用者がある北九州市の重要な交通機関。
開業以来約30年、安全性・正確性・快適性の確保に努めながら、都市圏の交通体系の一翼を担う。
◎<http://www.kitakyushu-monorail.co.jp/>

